

学校経営 ビジョン	子ども一人一人を愛情をもって鍛え、よさや可能性を引き出し、伸ばす教育を実践することで、児童が成長と安心、思いやりを感じ、笑顔が溢れる紙屋小学校の学習・生活を実現する。
--------------	---

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策等	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
知育	<p>重点目標： 学力の向上</p> <p>手段： 1 児童がわかる・できると感じる授業実践 2 児童一人一人の実態に応じたきめ細かな指導 3 考えや思いを積極的に表現する力の育成 4 家庭学習の充実</p>	<p>1について</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大により、授業日数・授業時数が大幅に削減されたが、学習内容については、ほぼ予定通りに習得することができている。若干スピードを上げたことで詰め込み気味になってしまった可能性がある。 タブレットについては、徐々に活用が図られてきているが、まだ十分とは言えない。更なる活用のスキルを一人一人の教員が身に付けていく必要がある。 <p>2について</p> <ul style="list-style-type: none"> 本年度は朝の時間を活用した「学力向上タイム」を帯の時間帯で確保している。各教科の基礎的・基本的内容を振り返り、学力向上に向けた取組を行った。 学年末に向けて CRT テストの活用による「学びの確認」を行い、児童一人一人の習熟状況に応じた指導を充実させることができた。 本年度も計算・漢字コンテストに向けて各クラスで積極的な取組が見られた。満点の児童は各クラスで紹介し、表彰を行っている。 <p>3について</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒指導の3機能「自己決定」「自己存在感」「共感的な人間関係」については共通して指導が行えなかった部分がある。次年度以降も継続して行っていきたい。 コロナ禍により中止になった作品募集等もあったが、社会教育課主催の「家族の作文」では5名の児童が入選を果たすことができ、学校賞をいただくことができた。 <p>4について</p> <ul style="list-style-type: none"> プリントや自学ノートを中心に、長期休業中の課題も含めて計画的な指導を行うことができた。 	2.9	3.3	<ul style="list-style-type: none"> コロナの影響により参観日等の時間が少なくなったが、子どもたちの学校での話を聞く充実していると感じた。 授業日数の削減で苦勞されたことと思います。スピードについていけなかった子どもたちには機会をとらえて個別指導をお願いします。 「家族の作文」での学校賞、おめでとうございます。家庭や先生のおかげですね。新聞に載った学校紹介もよかったです。 今年は新型コロナウイルスの影響で小学校にしか行けなかったのがとても残念でした。 小テストやコンテスト等の活用はとも自信につながり、継続してもらいたい。 新聞等で紙屋小の子どもたちの作品が掲載されてうれしい気持ちになります。
徳育	<p>重点目標： 豊かな心の育成</p> <p>手段： 1 基本的な生活習慣の形成 2 豊かな感性の育成 3 道徳教育、人権・同和教育の充実 4 いじめ・不登校の未然防止と早期発見・早期解決</p>	<p>1について</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートによると「あいさつ」「返事」「言葉遣い」について、児童自身もできていないと感じていることが分かった。家庭、地域と連携した取組が必要である。 規範意識については、「紙屋っ子の約束」を年間を通して意識した指導を行い、児童だけでなく、家庭にも周知を図っていく。 <p>2について</p> <ul style="list-style-type: none"> 読書量については図書室の貸し出し冊数が、平均111冊(1/14現在)と目標を十分に達成できているにも関わらず、アンケートでは結果(児童、保護者、職員)が思わしくなかった。 非常事態宣言で一部読み聞かせが実施できない時期があったが、「たんぼぼ」のみなさんのおかげで充実した活動を行うことができた。 <p>3について</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙屋中と合同で「道徳」に関する研修を行っている。授業研究会や主題研修を通して、授業「考え、議論する道徳」の充実が図られてきている。 「西諸みんなどで人権を考える取組」(年2回)に合わせて、人権について考える学習を計画的に行うことができた。 <p>4について</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめや不登校の問題については全職員で話し合いながら対応にあたっている。本年度から積極的な「いじめ」の認知に努めている。 教育相談体制については職員だけでなく、関係機関とも連携を図りながら相談体制の充実を行うことができた。 	3.0	3.3	<ul style="list-style-type: none"> あいさつについて、人から言われる前に自分からあいさつができればいいと思う。 紙屋小の子どもたちはあいさつすると気持ちがいいぐらいいあいさつしてくれるので、こちらも元気で頑張ろうと思います。 あいさつは全体的にできていると思う。毎日コンスタントにできるとさらによい。 自己を肯定し、他者に共感できる子どもになるよう、また、いじめがけがって起きない学校であってほしいです。
体育	<p>重点目標： 体力の向上</p> <p>手段： 1 規則正しい生活習慣の育成 2 体力向上の推進 3 立腰指導と正しい鉛筆握り、箸使いの徹底 4 「自分の命は自分で守る」意識の醸成</p>	<p>1について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「早寝・早起き・朝ご飯」は十分に達成できているものの「歩いて登校」の部分で評価が低くなったと思われる。 <p>2について</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により、本年度は体力テストが実施されなかった、令和元年度の結果を基に体力向上のための取組を各学年で行っている。 体力面では素晴らしい力を持った子どもが多い。コロナ禍で運動不足等が心配されたが、情報発信も含めて効果的に指導を行うことができた。 <p>3について</p> <ul style="list-style-type: none"> 立腰指導については評価が高かったものの鉛筆の握り方についての評価(児童、保護者、教師とも)が低い。鉛筆の使い始めの時期の指導が重要だと考える。 <p>4について</p> <ul style="list-style-type: none"> 本年度は新型コロナの影響で引き渡し訓練を行うことができなかった。 登校班については登下校中のトラブルが数件報告された。 	2.8	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 持久走大会等、がんばっている姿がすばらしかった。 紙屋の子どもたちは走り回って遊ぶことが多いので、運動面では発達していると思います。 登下校中のトラブルが事故につながらないことを祈ります。 集団等校の際に上級生がちゃんと小さい子どもとかよく目が届いているなと思って感心します。 下校時は一人ではなく、複数下校を実践してほしいと思います。 雨の日の登校は別として、みんな元気よく登校していると思います。
食育	<p>重点目標： 望ましい食習慣の育成</p> <p>手段： 1 個に応じた給食指導と食事マナーの徹底 2 栄養教諭・養護教諭の連携による食育の推進 3 食を通じた感謝の心の醸成 4 家庭・地域等との連携による食への意識の向上</p>	<p>1について</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙屋小は食べ残しが非常に少ないと給食センターからもありがたい評価をいただいている。家庭での指導もあってのことと感謝している。 アレルギー対策については保護者、給食センターと連携した指導が行うことができた。 <p>2について</p> <ul style="list-style-type: none"> 養護教諭、給食センターの学校栄養職員と連携し、充実した指導を行うことができた。 <p>3について</p> <ul style="list-style-type: none"> 三密を避けるため、例年1月に実施している給食感謝集会を実施することができなかった。しかし、事前に健康委員会児童によるビデオを撮影し、全校児童に向けて放映することで給食についての理解と感謝の心を高めていくことができた。 <p>4について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「弁当の日」については保護者の協力もあり、充実した指導を行うことができています。食に対する関心を高めるよい機会となっている。 「米作り、いも作り」についても保護者やJA青年部の協力により充実した活動を行うことができた。 	3.2	3.5	<ul style="list-style-type: none"> 給食の食べ残しが少ないことがすばらしい。 紙屋小学校は給食の残量が少ないと聞き、食に対する指導ができていますと思います。これからもご指導をよろしく願います。
その他	<p>重点目標： 教職員の働き方改革</p> <p>手段： 1 リフレッシュデーの実施 2 全職員による施錠管理</p>	<p>1について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「働き方改革」により、リフレッシュデーに限らず、勤務時間を意識した働き方を推進することができた。 <p>2について</p> <ul style="list-style-type: none"> 徐々に、全職員による施錠管理という意識が見られるようになってきた。 	2.9	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 先生方との交流が少ない。(コロナの影響ですが、もっと先生方と交流がほしい) 働き方改革はともよいことだと思います。これからもやっていってもらいたい。リフレッシュすることで新しい考えやアイデアも生まれ、今後の教育に生かしてもらえればと思う。 教師を希望する若者が少なくなっているようなので、魅力ある仕事になるようお願いいたします。

次年度の方向性についての校長所見	<p>本年度の取組と次年度に向けた改善について</p> <p>本年度は新型コロナウイルスの影響で、予定していた教育活動を十分に行うことができないことがあった。しかし、様々な制約がある中で、教育目標達成のため全職員の協力による指導の充実を行うことができたことと自負している。本年度、課題として上げられたものについては改善を行っていくと共に、子どもたちのよりよい成長のため更に工夫を行っていききたい。来年度以降も新型コロナウイルスの影響は避けられないと思われるため、健康、安全面には十分配慮し、その中で何が大切なものを見失わないように見極めながら保護者、地域と連携して、よりよい紙屋小学校をつくっていくように努めたい。</p>
------------------	---

